

期間経過後、整備を行わざるを得ないと考えています。

**問** 国、県の補助を受け圃場整備が行われたところに付随する道路は、8年間土地買収を伴う改善ができないというのが、8年とは平成何年までか。

**建設部長** 圃場整備は平成24年度で事業が終了し、平成32年で8年が経過します。

### 事故も発生、対応は

**問** 交通事故も発生している。今後の対応は。

**市長** 返還措置は国で定めから30年近くたちます。補助金の適正化の法律により考えますと、歩道整備は平成33年以降になるということで、10年以上待たなければならず、これはどうにかしなければと考えています。県道塩釜巨理線の道路整備が進んでいる中で交通量が増加していることも踏まえると、歩道設置の必要が相当高くなります。あらためて整備に向け、関係方面と協議したいと思えます。

### ハナトピア岩沼



飯塚 悦男

**問** 岩沼版事業仕分けで、ハナトピア岩沼事業については、廃止・中止が適当と評価した。市長は産直や集会施設は残し、集客力のあがる公共施設に転換させると言明した。ハナトピア岩沼の設置及び管理に関する条例を改正する考えはあるか。

**市長** 市としては、多額の費用を投入した施設でもあり、公共施設としての在り方を考える中で必要性があれば条例改正も検討します。

### 地場産品の店舗建設

**問** 地域農業の振興、農商工連携の下、農産物や地場産品を扱う集客力ある店舗を建設する考えはないか。

**市長** 農商工連携で集客力ある店舗という考え方は時宜を得たものであり、建設より既存の施設の有効利用を考えながら慎重に方向付けの議論をしていきます。



渡辺 邦信

### 保育行政



ハナトピア岩沼の産直市

**問** 市には竹駒神社、金蛇水神社などの観光資源がある。地場産品を扱う道の駅があれば相乗効果が生まれるのではないか。

**市長** 観光資源を十分に生かす道の駅ということは分かりません。ハナトピアスタート時点で検討した経緯があり、十分検討します。

**問** 食を通して市外の人々と交流、発信する公共施設にすれば地域活性化につながるのではないか。

**市長** 全体的なことを踏まえながら検討します。

**問** 保育所（園）の待機児童への対応は現段階でどう認識しているか。

**市長** 12月1日時点で、入所児童数689名、待機児童数64名です。4月に仮称はるかぜ保育園が開園を予定しており、待機児童は解消されると見込んでいます。

**問** 保育所（園）の定員に対し、どのぐらい弾力的な運用をしているか。

**健康福祉部長** 12月現在で、630名定員に対して689名の109・4%の運用です。昨年は、定員570名に対して637名で111・8%の運用でした。新たに保育園が設置されたことで、弾力的運用も若干緩和されてきていると考えます。

### 認可外保育に支援を

**問** 岩沼市の保育行政において、認可外保育施設はどのような役割を果たしているかと認識しているか。

**市長** 親の就労形態や保育に対するニーズが多様化している中で、認可施設と相まって重要な役割を果たしているかと認識しています。

**問** 認可外保育施設への運営支援として、助成対象経費、または助成額の拡充を行うってはどうか。

**市長** 認可外保育園に対する補助は、運営費における一般生活費が3歳児まで助成されています。現在、助成対象から外れている4歳、5歳児への拡大ができませんか検討しています。

### 教育受託事業



高橋 孝内

**問** 教育受託事業で名取市から児童、生徒を受け入れている。地域外就学受託金として児童一人当たり2万1000円、生徒一人当たり2万4000円を人数分いただいている。算出の根拠は何か。

**教育長** 区域外就学を実施している仙台市と名取市の受託金に準じた形で金額を算出しています。変更の際にも、仙台市と名取市が取り交わした受託金を検討しながら決めています。